

### 3 安全・安心なとちぎづくり

「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に基づく公共事業費・直轄事業負担金等 76億9,600万円

治山施設やため池、道路、河川、砂防施設などの防災・減災対策を行います。



**NEW** 堤防強化緊急対策プロジェクト事業費 30億円

災害の未然防止および被害低減を図るため、長時間の洪水に耐える堤防強化対策に重点的に取り組みます。



緊急防災・減災対策事業費 10億円

災害の未然防止および被害低減を図るための堆積土除去、調節池設置、急傾斜地対策などを行います。

### 4 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」と第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」に向けた着実な取り組み

総合スポーツゾーン整備費 55億9,100万円

新体育館、屋内水泳場の新設や合宿所等の既存施設の改修、公園および周辺道路の整備などを行います。



競技力向上費 5億2,100万円

国体に向けて、スポーツ専門員の配置や、とちぎスポーツ医科学センターの利用に対する助成などにより、選手の育成・強化に取り組みます。

障害者スポーツ選手等育成・強化事業費 3,600万円

2022年の全国障害者スポーツ大会に向け、個人競技の裾野拡大や各競技団体等が行う強化指定選手を対象とした強化練習会等に対する助成などを行います。

## POINT3 「とちぎ元気発信プラン」の総仕上げと「とちぎ創生15(いちご)戦略(第2期)」の推進

#### 次代を拓く人づくり戦略

学校指導力強化対策事業費 35億1,500万円

児童一人ひとりへのきめ細かな指導ができる環境を整えるため、小学校第6学年における35人以下学級の導入などを行います。



とちぎ結婚サポート事業費 5,500万円

「とちぎ結婚支援センター」のお引き合わせ枠拡充やサテライトの設置促進のほか、デジタルマーケティングを活用した情報発信、結婚等に関するライフプランセミナー等を行います。

#### 強みを生かす成長戦略

とちぎの農産物ブランド力強化推進事業費 7,600万円

県産農産物や「いちご王国」のPR、「とちぎの星」をはじめとする県産米のデジタルプロモーションなどを実施します。



光のいちご畑(県庁県民広場)

関西圏とちぎ魅力発信事業費

関西圏において、観光物産・企業誘致に関する情報発信や、県内食品関連企業の販路開拓を支援します。

【問合せ】県財政課 ☎028-623-2018

#### 暮らし安心健康戦略

医療機能分化・連携支援事業費 6億3,700万円

地域医療連携推進法人設立等による複数の医療機関で行う医療機能分化・連携の取り組みに対する助成等を行います。

**NEW** 歩行者保護意識向上対策事業費 800万円

ドライバーの歩行者保護意識の向上を図るため、テレビCMなどによる広報啓発を行います。

#### 快適実感安全戦略

**NEW** 交通系ICカード導入助成費 8,300万円

県民の利便性向上や観光誘客に向けて、交通系ICカードを導入する民間バス事業者が行う設備整備を支援します。

FCV導入促進事業費 1億500万円

FCV(燃料電池自動車)の普及促進のため、商用水素ステーションの整備助成制度を継続するほか、FCVの導入助成制度を創設します。

#### 誇れる地域づくり戦略

**NEW** 未来を創る高校生地域連携・協働推進事業費 1,000万円

県立高校において地域とともに課題解決やブランド開発の取り組みを行います。

**NEW** サイクルツーリズム推進事業費 8,200万円

県内全域の地域資源を活用し、サイクリングモデルルートの設定や走行ライン標示などの環境整備などを行います。

## とちぎ創生15戦略(第2期)

～とちぎの未来を創る15の戦略～

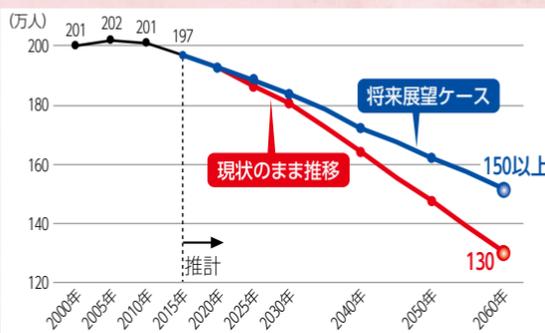
本県における人口減少問題の克服と将来にわたる地域の活力維持を目指し、2015年からオールとちぎで取り組んでいる第1期戦略に続き、第2期戦略を策定しました。



#### とちぎの人口の将来展望

##### 人口減少と少子高齢化の進行

- 本県では、2005年の202万人をピークに人口が減り続け、2019年の人口は194万人となっています
- 出生数の減少や転出超過など、このままのペースで人口減少が続くと、2060年には130万人まで減少すると予想されます
- 高齢化も進行し、65歳以上の人口比率は、2060年には39.7%になる見込みです(2015年は25.9%)



#### とちぎの目指す方向

合計特殊出生率を向上させ  
東京圏への転出超過を解消し

2060年に人口150万人以上を確保!



#### 人口減少、少子高齢化の影響は幅広い分野に

##### 生活への影響

- 店舗等の撤退や地域公共交通の衰退による利便性低下
- 自治会や消防団の活動など地域コミュニティ機能の低下 など

##### 子育て・教育への影響

- 集団活動や地域との活動の減少による、コミュニケーション能力を育む機会の減少
- 学校の統廃合や通学負担の増加 など

##### 医療・福祉への影響

- 社会保障費の増大
- 医療・福祉・介護人材の不足
- 医療施設の撤退に伴う受診機会の減少や通院時間の増加 など

##### 産業への影響

- 労働力不足や生産活動の低下
- 後継者不足による事業承継の困難化
- 担い手不足による耕作放棄地の増加や森林の荒廃 など

#### 第2期戦略における新たな視点

- グローバル市場の活力を取り込む
- 高等学校と地域の連携・協働による人材育成
- 「関係人口」の創出・拡大への取り組み
- 未来技術の活用の推進
- SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けた施策の推進



#### 四つの基本目標と一つの横断的目標

人口減少問題を克服し、将来にわたり地域の活力を維持していくため、四つの基本目標と一つの横断的目標を定め、15の戦略を展開します

- 基本目標1 とちぎに魅力あるしごとをつくる(5戦略)
- 基本目標2 とちぎへの新しいひとの流れをつくる(3戦略)
- 基本目標3 とちぎで結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる(3戦略)
- 基本目標4 とちぎに安心して住み続けたい地域をつくる(3戦略)
- 横断的目標 未来技術をとちぎの新たな力にする(1戦略)

詳しくは [とちぎ創生15戦略](#) [検索](#)

【問合せ】県総合政策課 ☎028-623-2206